

R-ネット瓦版 第23号

事務長あいさつ

皆様におかれましては、常日頃より広島市立安佐市民病院の運営に多大なるご支援ご協力を賜りまして、厚くお礼申し上げます。

はじめまして

本年4月から安佐市民病院事務長に就任しました新谷です。どうぞよろしくお願いいたします。

私は以前、広島市民病院に3年、病院事業局経営管理課に4年勤務しておりました。数年ぶりの病院勤務となりますが、毎日繰返し来院される様々、多くの患者さんの不安や期待に応えようと、曜日・昼夜を問わず奮闘している医療スタッフに改めて敬服しています。

お世話になっています

平成23年3月より、安佐医師会及び会員の皆様のご協力により「可部夜間急病センター」が開設・運営され、当地域の急患対応にご尽力いただいております。お陰様で当院の負担軽減が図られ、重篤な救急患者への対応に専念できつつあります。

この紙面をお借りし、改めて地域の関係機関の皆様方にお礼申し上げます。

頑張ります

安佐市民病院では、患者さんなど来院される方々から「皆様の声」(投書)を毎日のように頂いています。要望や苦情が多い中、時に感謝やお礼、スタッフへのお褒めの言葉を頂戴します。

このときは、喜んで胸を張り、スタッフに敬意を表して頭を垂れ、また気を引締めて背筋を伸ばします。一種、上半身のストレッチ体操です。今後は毎日このストレッチ体操ができるよう、微力ながら事務部門として病院運営の一翼を担えるよう頑張ります。

病院を取巻く環境はめまぐるしく変化していきますが、どのような時代にあっても「すべては患者さんの笑顔のために」をモットーに。

最後に、広島市立安佐市民病院に対しまして、より一層のご支援ご協力を賜りますようお願いするとともに、皆様の益々のご発展とご多幸をお祈り申し上げます。

(事務長 新谷 恭治)



事務室職員 (前列中央が私です)